

# 予算審査特別委員会

第六十号議案・平成18年度白石市一般会計補正予算(第一号)及び第六十一号議案・平成18年度白石市介護保険特別会計補正予算(第一号)の二議案については、定例会第二日(六月十四日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託された。

同委員会(委員長・安藤佳生、副委員長・佐々木章)で、六月十五日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の中で論議された主な点は次のとおりである。

## 総務財政所管

〔質疑〕コミュニティ事業補助金による備品購入について伺いたい。

〔答弁〕これは、やる気応援事業貸出用備品で、イベント用のテント、ワイヤレスアンテナ、デジタルカメラ等々を購入し、貸出要綱等を整備して、活動団体に貸し出しするものである。これは、コミュニティ活動への助成事業を実施している、財団法人自治総合センターコミュニティ助成金で

対応するものである。

また、この助成金により市内10団体が助成申請し、採択されたものである。

購入物品等の内訳としては広報しろいし6月号にも掲載しているが、山車の修理、子供用のはんてん、フィットネスバイク、ウォーキングマシンその他の購入となっている。

〔質疑〕田舎暮らし体験ツアーの内容について伺いたい。

〔答弁〕いわゆる団塊の世代の方々が定年を迎えることから、白石に帰って来てほしい、白石に都会から来てもらって、田植え、稲刈りなどの農業体験を通じて白石の自然、歴史、文化等に触れてもらって白石をPRしてもらおうのをねらいに実施するものである。



田舎暮らし体験ツアーの田植え風景

## 産業経済所管

〔質疑〕城下町回遊ルート整備工事について、すまいる広場から沢端川に接する区間は歩道部分のみの舗装になるのか。また、旧刈田病院跡地への植栽について伺いたい。

〔答弁〕アーケードとなっているこの区間の舗装部分をカラー舗装しようとするものである。また、擬木柵については丸形のものと考えており、植栽は、旧刈田病院跡地の、清風の前に実施しようとするものである。さらに、市道大手町線付近のガードレールの塗色を白から擬木柵に合った色彩に塗り替えようとするものである。

〔質疑〕旧国道4号から、いきいきプラザまでの沢端川沿いの区間の擬木柵を取り付けるにあたり、構造の安全と歩行者の安全をどのように考慮しているか伺いたい。

〔答弁〕沢端川にせり出した部分は構造を考慮して、軽量のものを考えている。また、車道側の安全柵も設置しよう

とするものであり、現在の白い転落防止柵を擬木に置き換えるものである。



沢端川と歩道



カラー舗装される歩道